

1月～4月のご利用者様の様子

テーマ:人生いろいろ

ステップ

デイサービス

甲斐 芳子様

現在はプールにてリハビリに励まれている甲斐様。以前は看護師として、大阪市内の病院で25年ほどお勤めになられていました。

【看護師を目指したきっかけ】

元々は学校の先生になりたかったのですが、経済的理由から断念し、看護学校は当時働きながら定時制に行けることもあり看護師を志しました。

【大変だったこと】

感染症の病棟にいた頃、完全防護の服装で看護したことや、お年寄りの患者様をお風呂に入れるのに苦労しました。

【良かったこと】

様々な患者さんやそのご家族の方々など、いろいろな人たちと接することが出来たことです。(高瀬)



現在の甲斐様

プールエクササイズ中の様子



看護師時代の甲斐様

グループホームの澄子様

澄子様は、ご結婚前にレコード店に勤めておられ、その店には五木ひろしさんが来られ、握手をしていただいた事があります。今も歌番組が大好きで、五木ひろしさんが出演されると、にっこり笑顔で拍手をされておられます。

ご結婚後は、ご夫婦で喫茶店とケーキ屋を営んでおられ、ショートケーキやチョコレートケーキ、またオリジナルケーキも作っておられました。今も甘いものやコーヒーは大好物です。(堀口)



去る4月23日(土)、慈恵園福祉会の新人歓迎会と表彰式が開催されました。

新人職員を代表し、ふじいでら入所3階の清野由華さんが、入職の挨拶とこれからの意気込みを語られていました。

資格取得の表彰式では当施設の職員もたくさん表彰され、引き続き永年勤続の職員の表彰も行われました。

また、豪華景品が当たる抽選会も行われ、美味しい食事を食べながら職員同士で楽しく歓談をするなど、思い出に残る有意義な時間を過ごす事が出来ました。

(高瀬)



新人紹介

竹本 正文

老健4階 介護

ご利用者様の立場になって考えられる職員を目指して頑張りたいと思います。



豊原 純一 老健3階 介護

ご利用者様の気持ちに寄り添った介護をしていけるように頑張ります。



飯山 美津子

老健 看護

早く慣れてご利用者様に寄り添える看護ができるよう頑張ります。



片部 幹子

ステップ1階 介護

ご利用者様が気持ち良く過ごせるように、笑顔と絶やさず頑張りたいと思います。



池上 祐美

老健 管理栄養士

もっとご利用者様と関わっていき、良い関係を築いていきたい。



清野 由華

老健3階 介護

一日でも早く仕事に慣れ、ご利用者様一人ひとりに合ったケアが出来るように心がけていきたい。



編集後記

今回は「人生いろいろ」というテーマでご利用者様にお話を伺いましたが、皆さんとても懐かしそうにしながら色々なエピソードを教えてくださいました。ご利用者様が目をキラキラさせながら語る様子を見て、自分自身も将来、同じ様に仕事の話ができるよう仕事に取り組みたいと思います。(岸田)

老健ふじいでら

検索

ふじいでらブログ
fujiiidera-s.jugem.jp



社会福祉法人 慈恵園福祉会

介護老人保健施設 老健ふじいでら 〒583-0014 藤井寺市野中1丁目103-1
TEL:072-939-5330/FAX:072-939-5227
在宅複合施設 ステップ 〒583-0014 藤井寺市野中1丁目44-1
TEL:072-939-5332/FAX:072-939-5334
ショートステイ まつばら 〒580-0003 松原市一津屋3-1-16
TEL:072-337-6770/FAX:072-337-6777



老健入所

藤井 オエツ様

昔されていたお仕事を聞くと、百姓とのことでした。
藤井様の畑では色々な野菜、米を作っていたそうです。
「いっぱい、苦勞もしたけど、楽しかったよ。近所の方にもお米をあげていて、私の米食べたら他の米食べられへんって言われた。」と自慢げにお話してくださいます。
また、手も見せてくださり、「見て。ガサガサやろ、男みたいな手や。」と色々な苦勞があったことがよく分かります。
そんな藤井オエツ様。これからも笑顔いっぱいでお過ごしください。(中田)



2階

田井 寿子様

【仕事】 日本人形の着物縫いと組み立て

ご本人のお母様がこの仕事をされており、お母様の紹介で始められたとのこと。結婚されるまでの間、就労されていたそうです。「通常の着物とそっくりに作らないといけないので難しい。」「一日にたくさんできないし、人形の大きさも小さいものから大きなものまで様々ある。」「気をつけるのは特に襟元！ここが一番肝心！」と、生き生きとしたお顔で教えてくださいました。

【やりがい】

出来上がりの綺麗さに、やりがいを感じられるそうです。誰かが喜んでくれることが嬉しいとのこと。「さて、なんぼで売れるかしらん??」と考えることがとてもたのしかったそうです。(辻本)



3階

松山 和子様

松山様は、ご主人と共にご実家の商売を三年間手伝い、商売のノウハウを学び、自らもバイクや自転車を扱うお店をご主人と二人三脚で始められました。

ご主人は、根っからの九州男児。取引先でケンカをして、取引を台無しにしてしまうこともあったとか……。しかし、松山様の性格、負けん気の強さと他人(お客様)への気遣いでご主人やお店を支えていきました。

ご主人が、お亡くなりになられたことをきっかけにお店をたたまりましたが、「子供を3人、しっかりと大きく出来たし、大変やったけどやりがいのある仕事やったよ。」と楽しそうに教えてくださいました。松山様は、今でもニコニコ笑顔で、持ち前の負けん気を活かしてリハビリを頑張られています。(植田)



4階

老健通所リハビリテーション

清水 誠二様

学校卒業後は普通にサラリーマンをされていたそうですが、しばらくしてこれは自分には合わん!!と悟られ、その後溶接の仕事を始められました。

当時は職人さんの数も少なく、仕事の依頼が多くあちこちで引っ張りだこだったようで、かなり稼いだとおっしゃっていました。仕事後は、お酒が好きでよく飲みに行かれていたそうです。「稼いだ金はほとんど飲み代で消えたわ〜。」と、笑って話して下さいました。(藤井)



向井 キク様

若い頃は、弁天町で牛乳屋さんをされていたそうです。10人程を雇って経営されていたそうです。

その後いくつかの職種を経て、39年前の55歳の時に今度は家でゆっくり出来る仕事がいいと藤井寺に来られ、喫茶店を始められました。

今も娘さんを手伝われ経営されています。この仕事のいいところは、「たくさんの人との出会いがあり、いろんな話が出る。」とおっしゃっていました。(藤井)



リハビリ

エコノミークラス症候群とは

4月に熊本で大地震が起き、テレビでも「エコノミークラス症候群」という言葉をよく耳にします。しかし、「名前は聞いた事はあるけど、正直よく分からない。」という人も多いのではないのでしょうか?

「エコノミークラス症候群」は、「地震や長期の飛行機搭乗などで生じる病気。」と思われがちですが、実は身近な病気の一つであり、在宅生活をされている高齢者も罹る危険がある病気なのです。

この病気は、「深部静脈血栓症」とそれに起因する「急性肺血栓塞栓症」を総じて「エコノミークラス症候群」と呼んでいます。「深部静脈血栓症」は、運動不足などで足などの静脈の流れが悪くなり、静脈内に血の塊(血栓と言います)が生じた状態を言います。そして、その血栓が何かのきっかけで血流に乗り、心臓を通り、肺の動脈に詰まってしまう事があります。これが、「急性肺血栓塞栓症」と呼ばれる状態で、かなりの確率で死に至ります。

このように、運動不足などが原因で生じる病気ですので、在宅生活をされている高齢者も運動量が少なければ、「エコノミークラス症候群」にかかる可能性はあります。(実際に、先日あるご利用者様のご家族様から「親戚が突然死し、エコノミークラス症候群と言われた」とのお話もありました。)

突然死するような怖い病気ではありますが、予防は比較的簡単にできます。主な原因は「運動不足による下肢の血行不良」ですので、しっかりと足の運動を行う事が重要です。歩く方は出来るだけたくさん歩くのが良いでしょう。また、歩く事が困難な方は、ベッドに仰向けに寝た状態で足の下に枕などを敷き、少し足を高めた状態で足首を上下に動かすと効果的です。

下肢の血行不良は「エコノミークラス症候群」以外にも様々な病気の引き金となります。皆さん、出来る範囲で運動に励み、病気の予防に努めましょう。(下村)

